

製品名: CDK8 (2S1) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08572**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK8 CDK8 protein kinase; Cell division protein kinase 8; Cyclin Dependent kinase 8; K35; Mediator complex subunit cdk8; Mediator of RNA polymerase II transcription subunit cdk8; Protein kinase K35;
別名	
遺伝子 ID	1024.0
SwissProt ID	P49336
免疫原	ヒト Cdk8 の組み換えタンパク質

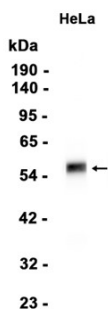
背景

メディエーター複合体の成分で、ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の調節された遺伝子転写に関与するコアクチベーターです。メディエーターは、遺伝子特異的調節タンパク質から基本的な RNA ポリメラーゼ II 転写機構に情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般転写因子との機能的な開始前複合体の組み立ての足場として機能します。RNA ポリメラーゼ II の大サブユニット (RNAP II) の CTD (C 末端ドメイン) をリン酸化します。これにより、転写開始複合体の形成が阻害される可能性があります。CCNH をリン酸化して、TFIIH 複合体のダウンレギュレーションと転写抑制を引き起こします。MAML1 との相互作用を通じてリクルートされ、NOTCH の細胞内ドメインを過剰リン酸化してその分解を引き起こします。

研究分野

-

画像データ



CDK8 (2S1) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。